

コクワガタ



とっとり花回廊にて (撮影：桐原佳介)
注意：園内では特別な事例を除き動植物の持ち帰りは禁止されています

■「コ」がつくけど中堅です
虫たちの賑わいが高まる夏、ひととき万人気の高いクワガタの仲間やカブトムシも活発に動き始めます。南部町でもよくみかけるコクワガタは、日本産クワガタ類では中堅クラス。実はもつと小さなチビクワガタやマメクワガタという種類もあります。オスは

立派な顎を持ち、2〜5センチほどです。野外では、5センチオーバーはなかなか出会えないレアものと言われています。一方メスは、2〜3センチで、他のクワガタのメスとそっくりです。私はなかなか区別ができません。まるでカモの仲間が、オスは個性的な色彩で見分けやすいのに対し、メスはみなそっくりなのと、よく似ています。

■広葉樹林が大好き
とっとり花回廊は、元々自生していたクヌギやコナラ、シラカシなどの落葉広葉樹の巨木を上手に残し、さらには園内で管理されているので、クワガタやカブトムシがとても棲みやすい環境になっています。成虫は、木の幹からしみ出す発酵した樹液を好み、幼虫は、シイやカシの仲間の樹木が朽ちた材の中で育ち、蛹になって羽化します。椎茸を栽培した後の使用済みのほだ木などは、まさにクワガタたちの繁殖に最適で、幼虫のゆりかごとなっています。コ

クワガタは、都市部でも小規模な公園で発生することもあり、クワガタの中でも馴染みがあり、我が家でも、網戸にくっついていたり、家の中の壁にとまっていたりして、ゴキブリと間違っって驚いたこともあります。

■探すポイントは街灯

クワガタやカブトムシを探すポイントの一つに街灯めぐりがあります。よく知らない場所、夜の雑木林に入り樹液の出ている木を探すのは大変危険です。まずは、近所にある明るい街灯や自動販売機の明かりに集まっている虫をチェックしてみましょう。また、橋の上も街灯がある場所は昆虫観察の良いポイントです。ガの仲間やカメムシ類、ガムシなどに混じって、出会ったら嬉しい甲虫たちが見られるかもしれません。ぜひご家族での夜間昆虫観察、マナーを守って楽しんで頂きたいと思います。

自然観察指導員 桐原真希

祐生出合いの館【緑水湖畔】インフォメーション ■開館時間：9時～17時 ■休館日：毎週火曜日



6月6日に観覧者2000人達成
(安部朱美創作人形展)



6月28日～7月29日



6月28日～8月29日

ご自身が展示写真に写っている方には、粗品をプレゼント致します。ぜひ足を運んでみてください。